

1. 科目名 (単位数)	言語学概論 (2単位)	3. 科目番号	EIJP1141 EJJP1141
2. 授業担当教員	阿部 裕子		
4. 授業形態	講義・演習・討論・発表	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	言語には日本語も英語もあるが、どの言語にも共通したなんらかの性質がある。この講座は言語体系、言語能力、言語運用などといった言語学の方野でよく使われる用語を紹介したうえで、音、単語、文、意味、文化について考察を進め、ことばの普遍性と多様性を学習していく。		
8. 学習目標	1. どの言語にも応用できる言語学の基礎知識について説明できるようになる。 2. 言語学の基礎知識を日本語 (や母国語) に当てはめ、自分で用例を挙げながら解釈できるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 毎回授業の始めに振り返りを行ってから、内容導入を行う。 2. 毎回授業の終わりにワークシートを利用し、学習内容を確認する。 3. 研究テーマを10回目の授業前に提出し、方向性の確認後、研究を始め、14回目に発表を行う。その後、発表会での議論・コメントを踏まえ、自分の研究成果を最終レポートにまとめる。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】原沢伊都夫著『入門言語学』スリーエーネットワーク 2017。 【参考書】黒田龍之介 『はじめての言語学』		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1) 言語学の基礎知識について説明できるようになったか。 2) 言語学の基礎知識を日本語 (と母国語) に当てはめ、自分で用例を挙げながら解釈できるようになったか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生への メッセージ	言語学という学問は、何をやっているのかがわかりにくい学問かもしれない。この授業では、言語学はといった言語の何を研究しているかという言語学の基礎知識を学ぶことと、専門知識を日本語や母国語に応用することに力を入れる。応用することによって、言語学の醍醐味が分かるので、ぜひ楽しく勉強していきたい。		
13. オフィスアワー	第1回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (授業概要の説明)	事前学習	言語学とは何かについて考えておく。
		事後学習	教科書を通読し、希望の発表担当箇所を選ぶ。
第2回	第1章「言語学のはじまり」言語学の歴史、言語の特徴、言語の機能	事前学習	教科書 pp. 2~31 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。
第3回	第2章「音声学①」: 音声学の種類、音声の特徴: 子音 (調音点、調音法)	事前学習	教科書 pp. 34~49 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。
第4回	第2章「音声学②」: 音声の特徴: 母音、超分節素 (アクセント、イントネーション)	事前学習	教科書 pp. 50~65 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。
第5回	第3章「音韻論」音素、条件異音、音素表記、母音の無声化	事前学習	教科書 pp. 68~95 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。
第6回	第4章「形態論」形態素と異形態、語構成、日本語述語の活用、有標理論	事前学習	教科書 pp. 98~122 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。
第7回	第5章「統語論」直接構成素(IC)分析、チョムスキーの言語理論	事前学習	教科書 pp. 124~150 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。
第8回	第6章「意味論①」: 成分分析、語の意味関係、句の意味 (連語、慣用句)、文の意味	事前学習	教科書 pp. 152~171 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。
第9回	第6章「意味論②」: 語用論、コンテキスト、発話の構成要素、会話の条件	事前学習	教科書 pp. 172~186 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。
第10回	既存内容の復習テスト、それぞれの研究テーマと方向性の発表と確認	事前学習	既存内容の復習。自分の研究テーマを特定する。
		事後学習	研究テーマを確認し、研究計画を立てる。
第11回	第6章「意味論③」: 言語、文化、思考、サピア・ウォーフの仮説	事前学習	教科書 pp. 187~197 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。
第12回	第7章「認知言語学①」知識構造 (スキーマ、カテゴリー化、フレーム、スクリプト)	事前学習	教科書 pp. 200~212 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。
第13回	第7章「認知言語学②」認知作用と言語、ゲシュタルト、比喩表現	事前学習	教科書 pp. 213~230 を熟読しておく。
		事後学習	配布したワークシートの問題をやる。

第14回	各自の研究のプレゼンテーション	事前学習	プレゼンテーションに向け、リハーサルを行う。
		事後学習	フィードバックを参考に、改善点を提案する。
第15回	既存内容の復習テスト、前時の各発表テーマを参加者全員で議論し、各自のレポート作成を行う	事前学習	学習内容を復習し、疑問点を明らかにしておく。
		事後学習	議論を参考に、各自研究レポートを完成させる。
期末試験			